

科目区分	専門分野	履修学年	2年後期	単位数	1単位	時間数	30時間
科目名	母性看護方法Ⅰー2			担当教員	専任教員		
使用テキスト	1) メディカ出版 母性看護学 ①概論・リプロダクティブヘルスと看護 2) メディカ出版 母性看護学 ②母性看護の実践 3) メディカ出版 母性看護学 ③母性看護技術						
テキスト以外の教材・参考書等	1) 医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学【1】 母性看護学概論 2) 医学書院 系統看護学講座専門分野Ⅱ 母性看護学【2】 母性看護学各論 3) 日本助産診断実践学会 実践マタニティ診断 第5版 4) 日本助産診断実践学会 マタニティ診断ガイドブック 第6版 5) メディックメディア 病気がみえる(10)産科 第4版						
授業の概要及び到達目標							
<p><u>授業の概要</u></p> <p>妊娠期、分娩期、産褥期、新生児期各期の対象の生理的变化や特徴、対象に必要な看護について学ぶ。また、正常からの逸脱（異常）の要因とその看護についても学ぶ。さらに、各期の経過について、根拠を基に正常か異常かの判断ができるようアセスメントの視点について学習する。</p> <p><u>到達目標</u></p> <p><妊娠期></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 妊娠期の身体的特性および心理的・社会的特性を理解できる。 2. 妊娠に起こりやすいマイナートラブルとハイリスク妊婦の看護を理解できる。 3. 妊娠期に必要な保健指導内容が理解できる。 <p><分娩期></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 分娩のメカニズムが理解できる。 2. 産婦の身体的・心理的特徴を踏まえた看護が理解できる。 <p><産褥期></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 産褥のメカニズムが理解できる。 2. 褥婦の身体的・心理的・社会的特徴を踏まえた看護が理解できる。 <p><新生児期></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 新生児看護に必要な新生児の正常経過について理解できる。 							
評価方法	筆記試験						
備考	関連科目：解剖生理学,家族社会学,生命倫理,生活科学,母性看護学概論,母性看護方法Ⅰー1						

回数	授業計画 学習内容	備考
1	【妊娠期】 妊婦と胎児のアセスメント、妊婦健康診査	
2	妊婦の保健指導（日常生活援助） 妊娠中のマイナートラブルと看護	
3	親になるための準備教育 妊娠期の心理、社会的特性	
4	妊娠の異常と看護	
5	【分娩期】 分娩の経過と看護	
6	産婦の心理、社会的変化	
7	分娩の異常と看護	
8	【産褥期】 褥婦の健康と生活のアセスメント、全身（子宮）復古促進の看護	
9	母乳栄養確立の看護	
10	育児準備、産褥期の心理、社会的変化	
11	産褥の異常と看護、マタニティブルー、産後うつ 地域との連携	
12	【新生児期】 新生児の特徴と生理的变化、新生児のアセスメント	
13	新生児の看護 出生直後の看護、出生後から退院時までの看護 生後1か月健康診査に向けた退院時の看護	
14	新生児の異常と看護	
15	終講試験 まとめ解説	